

適用規格		MIL-STD-348B					
定 格	使用温度範囲	-40 °C ~ +85 °C (95 %RH以下)		保存温度範囲	-40 °C ~ +85 °C (95 %RH以下)		
	電 力	0.25 W (at 65°C)		特性インピーダンス	50 Ω (DC ~ 30 GHz)		
	特 殊 性	----		使用ケーブル	----		
性 能							
	項 目	試 験 方 法		規 格		QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。		○	○
	表 示	目視にて確認する。				○	○
電気的 性能	接 触 抵 抗	100 mA (DC or 1000 Hz) 以下で測定する。		中心コンタクト	—	—	
				外部コンタクト	—	—	
	絶 縁 抵 抗	DC Vで測定する。		MΩ 以上	—	—	
	直 流 抵 抗 値	DC 1V以下で測定する。		50 Ω ±1 以内	○	○	
	耐 電 圧	AC Vの電圧を 1 分間印加する。 (漏洩電流 2 mA以下)		せん絡, 絶縁破壊がないこと。	—	—	
	電圧定在波比	周波数 DC ~ 30 GHzにて測定する。 [SMPP (SB)-HKPと嵌合時の値とする]		VSWR 1.15 以下 :DC~15GHz VSWR 1.2 以下 :15~25GHz VSWR 1.25 以下 :25~30GHz	○	○	
機械的 性能	挿 入 損 失	周波数 ~ GHzにて測定する。		dB以下	—	—	
	単 体 挿 抜 力	[SMP側]		挿入力 --- N以下	—	—	
		φ0.35 ⁰ _{-0.005} の鋼製ピンで測定する。		引抜力 0.2 N以上	○	—	
		の鋼製ピンで測定する。		挿入力 --- N以下	—	—	
				引抜力 N以上	—	—	
	総 合 挿 抜 力	適合コネクタで測定する。 [適合コネクタ : SMPP (FD)-HKP]		挿入力 65 N以下	○	—	
				引抜力 16 N以上	○	—	
	繰 り 返 し 動 作	100回の抜き差しを行う。 [適合コネクタ : SMPP (FD)-HKP]		① 試験後電気特性VSWRを満足すること。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐 振 性	周波数 10 ~ 500 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 98 m/s ² で 3 軸方向各 10 サイクル 試験する。		① 試験後電気特性VSWRを満足すること。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐 衝 撃 性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。			○	—	
環境的 性能	ケーブルクランプ部の 引張り強度	30 mm/分でケーブル軸をケーブル抜け, 断線が 発生するまで引張り, 最大荷重を確認する。		最大荷重 - N以上	—	—	
	耐 湿 性	温度 40 °C, 湿度 90 ~ 95 %中に 96 時間放置する。		① 試験後電気特性VSWRを満足すること。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—	
	温度サイクル	温度 -55 → - → +85 → - °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分を 5 サイクル試験する。		① 試験後電気特性VSWRを満足すること。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—	
	塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。		試験後、電気特性VSWRを満足すること	○	—	
	△の数	訂正記事		設計	検図	年月日	
△							
備考 RoHS適合品 試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を適用している。				承 認	KH. IKEDA	17. 09. 08	
				検 図	TS. NOBE	17. 09. 08	
				担 当	AH. MARUYAMA	17. 09. 08	
				製 図	AH. MARUYAMA	17. 09. 08	
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目				図 番	SLC-375383-00-00		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	SMP-TMJ			
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL353-0024-0-00			
				△	1/1		